



特定非営利活動法人 なんとなくの にわ 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net

「コロナの1年」を越えて

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染が広がり、1年前の新学期は、春休み後の臨時休校が5月まで延長されるという異常事態で始まりました。市教委と相談の上、「子どもの居場所」は発熱チェックやマスク着用などの感染防止対策をとり、通常どおり開所を続けました。「なんとなくの にわ」への問い合わせや相談、「学びサポート」学習支援についても、いままでどおりの対応を行ないました。

昨年度の事業計画では、[1] 不登校の子どもたちの「多様な学び」を保証するための学校との連携、[2] 情報通信技術 (ICT) を用いた活動の強化、本会の特徴でもある、[3] 相談支援事業と連携した不登校支援のあり方を考えることを課題としました。しかし、感染終息が見通せない緊張の中、第一歩を踏み出せないまま、日々が過ぎてしまったように思います。とはいえ、6月はじめに学校が再開されてからは、居場所より栗山小中学校へオンラインで行った micro:bit ミニ講話、夏休み中の「若杉学級運営会議」への参加、「不登校児童生徒に対する支援連絡会議」の方々の居場所見学など、新しい動きがありました。11月には『子どもの居場所「なんとなくの にわ」を知ろう』という支援センター主催イベントで講演したことがきっかけで、子どもの学習を支援する団体とのつながりができました。これらの芽を今年度の活動につなげていければと思います。

この1年の開所日は237日。「なんにわ」には毎日、おしゃべりやゲーム、音楽やアクセサリ作り、工作などを楽しみ、笑顔を見せてくれた子どもたち、若者たちが居ました。これからも「のんびり、ゆったり」の居場所をよろしく願います。(手塚)

目次

| | |
|-------------|---|
| コロナの1年を越えて | 1 |
| ジャガイモ植えたよ! | |
| ワラビの放射能測定 | 2 |
| 居場所利用のお願い | 3 |
| 活動報告 | 3 |
| こんな本はいかが・53 | 4 |



↑ 4月16日、ジャガイモを植えました
← キジさんも遠くから見物

ジャガイモ植えたよ!

今年も大家さん提供の畑にジャガイモを植えました。お天気は曇り、外気温15度、風が冷たい午後でしたが、半そでのメンバーもいましたよ。前もって大家さんが畑を耕し、畝(うね)も3列できて、準備万端。(いつも、ありがとうございます) まず種イモの準備。芽の位置を気にしながらうまく切り分け、灰を付け、植えていきます。間隔は、えーっと、足のかかとかからつま先くらいあければOK。小学生と大人ではだいぶ足の大きさが違うけれど...まあいいや。畝の谷間に並べていきます。イモを放り投げて狙った位置に着地できるか試したりする子もいました。ワイワイ言いながら3列の畝が終わり、さらに3列増設しました。夏の収穫日が楽しみです。

種イモの間に鶏糞と化成肥料を置きました

土をかぶせてできあがり
草むしりと芽かきが次の仕事です



居場所のひとこま



「なんにわミニ音乐会」。歌なし、みんな離れて、少人数で、という制約のもと、小さなちいさなイベントを2020年度おしまいの日に開きました。今回のミニライブのためにできた「なんにわバンド」はギター、ウクレレ、マンドリンという編成。3曲を演奏しました。ひきこもり相談センター「かがやき」の利用者さんたち



がお客で来所。短い時間ではありましたが演奏とその合間の(マスク越しの...) 会話ははずみました。「ギターの音って、こんなにきれいと思わなかった」という感想も。そう、テレビなどで演奏されるギターは、ほとんどが内蔵マイクなどを通して音を取っています。生ギターに耳を傾ける機会って、意外と少ないものですよ。では、次の音乐会をお楽しみに。(N)

ワラビの放射能測定 – 原発事故から10年 –

日当たりのよい草地に群生し、4月末から5月にかけて地上に顔を出すワラビの芽は手軽に採取して食べるのできる春の山菜です。2012年から、ワラビの芽に含まれる放射性セシウム濃度を測定してきました。昨年までのまとめを報告します。

2011年3月の福島第一原発事故直後、微細な粒子として飛んできた放射能がホウレンソウなど葉物野菜の表面に付着し、驚くほどの高い濃度が栃木県産の野菜から検出されました。その放射性物質はそれからどこへ行ったのでしょうか。

放射性物質はその原子核の種類(核種)によってアルファ線、ベータ線、ガンマ線と異なるエネルギー線を放出し、通常安定原子核に変化します。この変化を「崩壊」と言います。原子核崩壊がある時間内にどれくらいの確率で起きるのかは核種ごとにわかっています。たとえば事故直後に世間を騒がせた「ヨウ素131」という核種は8日でその半分が崩壊してキセノン原子に変化します。この「8日」という長さが「半減期」です。ヨウ素131は8日ではじめの量の半分、次の8日でそのまた半分、その次の8日でまた半分と減っていきますので、約1か月後(正確には32日)経つと16分の1に減少することになります。10年経った現在、ヨウ素131はすっかり崩壊してしまい、まったく検出できないレベルになります。

環境中に放出され、いまも問題の「放射性セシウム」は、セシウム134、セシウム137の2種類です。ほぼ同量が福島第一の原発事故によって拡散したと言われていました。セシウム134については、半減期が約2.1年なので、10年間に96%は崩壊し、約4%のセシウム134が残っています。もう一種のセシウム137の半減期は30.1年と長く、10年経過しても約80%のセシウム137が崩壊せずに残っています。

前置きが長くなりました。原発事故後、地上に落ちた放射性セシウムを植物が吸収し、成長が盛んな部位に運ばれる可能性が指摘されました。セシウムはアルカリ金属に分類されます。生体内で化学的な性質が似ているカリウムと同じふるまいをするのではという予測から、植物の新芽などに集まると考えられます。「ワラビの芽は食べても大丈夫？」という心配に答えようと、2012年から日光市が始めた放射能測定所に日光市内の草地に生えたワラビの芽を持ち込みました。5月の連休頃に採取した食べごろの芽です。結果は「キログラムあたり170ベクレル」、食品としての販売が規制される濃度であることがわかり、食べるのは止めました。では、今後はどうなっていくのか知りたい。毎年同じ場所、同じ時期の芽を摘み、測定を続けました。右下の図は2020年までの放射性セシウムの変化を「●」で示しています。グラフ横軸は測定年、縦軸はキログラムあたりの放射性セシウム濃度(ベクレル/kg)です。「□」は、2012年に採取されたワラビをそのまま保存し、毎年測定を行ったとしたら、放射性セシウムはどれくらい減少していくかを示したプロットです。自然崩壊からの予想値に比べ、測定値はずっと早く下がり、2015年頃からは減少ペースが鈍くなったまま、20～40(ベクレル/kg)を上下しているように見えます。

ワラビは地下に根茎と呼ばれる地下茎を広げ春になると芽を出すのだそうです。ワラビに含まれる放射能は土壤の放射性セシウム量とどう関係しているのでしょうか。2014年に「環境研究班」をつくり日光各地の土壤に含まれる放射性セシウム濃度の測定を始めました。この活動のひとつとして、ワラビが生える草地周辺の土壤の放射性セシウム濃度も測定しました。地表



から5cmの深さまでの土壤を採取し、測定条件をそろえるため、1週間ほど天日乾燥。その後、小石、落ち葉や枯草などを除いた、さらさら状態にしてから、CsIシンチレータ測定器で測定。結果を以下に示します。

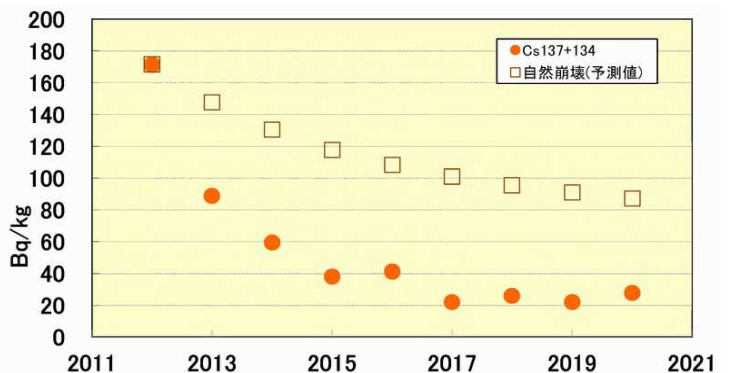
2014年:0.9, 2015年:1.2, 2016年:1.2, 2017年:1.3, 2019年:1.1, 2020年:0.8 (単位:キロボケレル/kg)

6年間のワラビ生育地土壤の放射性セシウム濃度はほぼ1,000ベクレル/kgです。セシウム134は4年で4分の1に減少し、134+137合計の放射エネルギーには大きく影響しないことを考慮すると、2014年以降、測定誤差を含めて考えて、この場所では地表5cmのセシウム137濃度はあまり変化していないように見えます。ワラビ新芽の放射性セシウム濃度はおよそ「周辺の乾燥土壤濃度×0.03」と言ってよいのかもしれない。

いっぽう、2014年以前、ワラビの測定を始めてからの数年は放射能濃度は急激に下がっています。これは土壤の放射性セシウム量が減ったわけではなく、「地表の土壤粒子に吸着され、植物から吸収されない状態に変化していった」ことがその理由と考えられます。信頼できる知見を以下にまとめてみました。

[1]地表、とくに草地や森林内に落ちた放射性セシウムの多くはその場に留まり、土壤に含まれる鉱物層の間に固定される。
[2]一部は植物に吸収されるが、落葉や枯れ木となって土中に戻り、その地域内で循環を続ける。広範囲の移動はない。
[3]雨水による周辺土壤の流れ込み、落ち葉の堆積などにより、狭い範囲での濃縮が起きる。部分的に高濃度の放射性セシウムを含む「ホットスポット」ができる可能性も否定できない。

土壤に含まれる放射性セシウム濃度がこれから下がっていくペースは「30年で半分」ということになります。ワラビの芽の放射能濃度が大きく減少することはなさそうです。注意していただきたいのは、ここにあげた数値がこの地域全体のワラビを代表しているのではないということです。ワラビの育つ草原の放射エネルギーは、土壤の成分、周辺の地形、水の流れなどによって大きく変化します。その場に生えたワラビの芽を採取し、放射エネルギーを測ってみることがしか判断材料はありません。食品の放射エネルギーについては、今年のワラビ測定結果も加え、次号にまとめてみたいと思います。(環境研究班 手塚、三上)



測定装置:

2012-2014:日立アロカNaI(日光市放射能測定所) 15~20分
2015-2017:Chappy Digital 211(6時間)

- 1月 5日 (火) 理事会 (第99回)
- 1月15日 (金) 2021・22年度 日光市入札参加資格審査申請書提出
- 1月29日 (金) 通信「なんとなくのひろば」第62号 発行
- 2月 8日 (月) 茶話会 (第104回)
- 2月26日 (金) かがやき講演会 発達障害の理解と支援 講師：堀口千恵さん
- 2月28日 (日) ベリー会 学習会
- 3月 2日 (火) 理事会 (第100回)
- 3月 8日 (月) 茶話会 (第105回)
- 3月25日 (木) ～4月2日 (金) 春休み (利用登録者に限定して春休み中も開所しました)
- 3月26日 (金) 2021年度 日光市子どもの居場所 運営業務委託費見積 (入札手続) 提出
- 3月31日 (水) なんにわミニ音楽会 (「かがやき」メンバーをむかえて)
- 4月 1日 (月) 2021年度・子どもの居場所開所 (手洗い・マスク励行、風邪症状や発熱に注意して実施)
- 4月12日 (月) 茶話会 (第106回)
- 4月16日 (金) ジャガイモ植え付け



さくらそう関連の勉強会など

[2020年度・日光市相談支援専門員連絡会]

- 1 1月25日 (水) 就労・生活支援センター (フィールド) の支援について
- 1 2月23日 (水) 訪問薬剤管理指導サービスについて
- 2月24日 (水) 市役所より報告・通院等乗降介助等について

[2020年度・日光市障害者自立支援協議会]

- 1 2月10日 (木) 第6回 事例検討会議
 - 1 2月25日 (金) 合同会議「発達障害児支援・家族支援」(とちぎ・ふじ発達研究所 佐藤俊夫氏)
 - 2月18日 (木) 第8回事例検討会議 ～成年後見制度事例報告(基幹)～
 - 3月11日 (木) 第9回事例検討会議
- * 緊急事態宣言による会議の中止 (1/14・1/27・1/28)



第17回 通常総会のお知らせ

場所：子どもの居場所 (日光市平ヶ崎)

日時：2021年5月8日 (土) 午後1時30分より

みなさまにお集まりいただき、当会についてのご意見を伺い、運営に反映する場として総会が行われるのが本来の姿と考えますが、多人数集まったの開催は昨年引き続き、難しい状況にあります。

今年度も昨年同様、正会員のみなさまから委任をいただき、理事および監事による少人数で総会を実施したいと思います。会場は「子どもの居場所」にて十分な感染対策を行った上で開催予定です。みなさまのご理解ご協力をよろしくお願いします。 NPO法人なんとなくのひろば 理事長 手塚郁夫

子育て・親育ちの茶話会

場所：子どもの居場所 (日光市平ヶ崎)

日時：毎月第2月曜日 (午前10時～12時)

次回の予定は電話でお問い合わせください。

参加費：300円 (お茶代)

同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合いましょ。 「一人で悩まず、みんなで！」を合い言葉に。 (Tel: 090-3227-7079)

居場所利用のお願い



新型コロナウイルス感染の広がりについて、まだまだ安心できない状況が続いています。感染症の終息まで、以下の点にご注意いただき、健康に配慮した居場所利用をお願いします。

- (1) 12時30分～16時30分まで居場所を開所します。
- (2) 来所前は体温測定および手洗いを行ってください。
- (3) 風邪の症状または発熱がみられるときは来所を見合わせていただくようお願いします。
- (4) マスクの持参と着用をお願いします。

マスク予備、マスク苦手な人へマウスシールドを玄関に常備！

「なんとなくのひろば」への相談は、いままでどおり受け付けています。電話またはメールでご連絡ください。

感染力、致死性が強い「変異ウイルス」が広がっています。新型コロナはいままでのインフルエンザと違い、「無症状の感染者が他の人に感染させる場合がある」という特性があります。「私は感染しているかもしれず、気付かないうちに周囲に感染を広げるかもしれない」と自覚し、人との接触を避ける行動を。

- ▼ 密な空間を避ける(互いに手の届かない位置で)
- ▼ 大声での会話、同室での食事をしない
- ▼ マスクをきちんと付ける

を守りましょう。居場所では空気清浄機を使い、窓を開け、空気の入替えを行っています。みんなで協力して、感染拡大を抑えましょう！

特定非営利活動法人 なんとなくのになわ 通信

〒321-1261 栃木県日光市今市378
電話 090-3227-7079 / email: info@nantonakuno.net
ホームページ <http://www.nantonakuno.net/>



こんな本はいかが？

その 53 国民の天皇 一戦後日本の民主主義と天皇制一

ケネス・ルオフ、木村剛久・福島陸男(訳) 2009 岩波現代文庫

本書は、戦後日本における天皇の社会的位置づけを様々な資料をもとに社会史的に分析した内容に沿って構成されている。

本書では、①象徴天皇制が成立して以降の天皇の政治関与とその是非についての論争、②元号制(紀元節)の復活に取り組んだ市民運動への賛否から見える天皇に対する国民の意識、について触れられている。本書の紹介にあたっては、昭和天皇の戦争責任と明仁天皇(現上皇)の憲法の象徴である「大衆天皇」としての立場性、および市民運動の分析を中心に説明していく。本書の大きなポイントは、戦前も戦後も天皇は時の政治権力にただ利用されるような受け身的な存在ではなく、むしろ重要な局面では積極的な政治的役割を担ってきたという事実の指摘にある。

ここから一つは、昭和天皇の戦争責任が明らかになる。本書では臣民に憲法を与え、陸海軍を統帥する権限が天皇にあったという事実を踏まえ、「日本を降伏に導く上で、昭和天皇がいちばん関心を持っていたのは国体ないし万世一系の皇統の維持であって、これ以上犠牲を多くしないようできるだけ早く戦争を終わらせることではなかった」(本書206-7頁)と指摘されている。

さて、国務大臣から天皇へとなされる「内奏」と呼ばれる非公式の国政報告は戦前に誕生し、天皇はこの報告に対し、表情や発言で賛否を示し、その言動が陸軍の行動を促すという意味で、戦時体制に影響を及ぼしたといわれている。この内奏が戦後にも残った。こうして戦中のような影響力はもたなかったものの、昭和天皇は戦後も政治に無関与だったとは言えなかったという。例えば、日米安保について賛意を示したとされる。戦後間もない頃は特に自身の地位が脅かされるようなイデオロギーの流布を警戒する態度を取っていたとされ、こうした態度が天皇制を反共の秩序維持の観点から利用しようとした占領軍の意向とマッチして、戦後の政治動向にも影響を及ぼした。

もう一つは、明仁天皇(当時、現明仁上皇)が「韓国とのゆかり」に言及し、さらに園遊会にて「国旗掲揚と国歌斉唱を義務付けたい」と訴えた将棋棋士の米長邦雄に対して「強制であってはならない」と答えたところに、「民主主義の象徴」としての天皇の積極的な役割意識が垣間見られるという論点が示される。このようにして日本国憲法下の天皇は政治への関与を制限されながらも、憲法理念に矛盾が生じるような事態については、過去の責任をあいまいにし、昔から平和主義者であったかのように装う態度(昭和天皇)や戦前の国家主義を称揚する動きに対して、牽制的な態度(明仁天皇)を取るのである。

一方でルオフは、元号制の復活を一つの市民運動として捉えることで、「進歩的な国民」と「退行的で強権的な国家」という単純化された図式を批判する。すなわち、同じ国民が「建国記念の日」や「元号」を支持したという事実から、国家主義の象徴を再確立しようとする国家主義は、民意によって支えられてもいるというのである。憲法改正につながるような「新国家主義」は、国民主権の社会の中で登場してきた言説であるという事実を直視すべきなのであろう。

日本社会の民主主義を考えるにあたっては、天皇の社会的・歴史的な位置づけをとらえておくことは必須の作業であることがよくわかる。(加藤敦也)

私たちの活動目的：

日光市とその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して、学習や自立のための支援活動と地域への啓発活動を行い、社会に出た後も継続性のある、支援と学びの場を作り出します。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、自然環境保全の大切さを啓発する活動
- ⑦ 障がいの理解および啓発に関する企画運営事業
- ⑧ 第二種社会福祉事業の相談支援事業経営

会員について

正会員：52
賛助会員：15
団体会員：4
入会金なし

年会費(一口)
正会員 3,000円

賛助会員
個人 5,000円
団体 10,000円

私たちの活動は会費と寄付金でまかなわれています。会員継続、応援をよろしくお願いいたします。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。みなさまの積極的な参加をお待ちしています。



なんとなくのへや 『GOTO文の使用は極力避け、

ブロックIFを使う。ただし例外処理にはGOTOを積極的に使う』。黎明期のプログラム言語「Fortran」でプログラムを書くときの注意事項です■プログラムは記述された命令順に実行されますが、順番を飛ばして処理を強制ジャンプする「GOTO命令」がときには必要でした。これを多用したプログラムは「スバゲッティ」と形容され、論理を追いかけていく、バグの温床と言われました■現在のプログラム言語はGOTOを大っぴらに使わなくてすむよう改良され、スマートです。昨年暮れ、街中の「GOTO」ポスターを見るたび、こんなことを思い出していました。(T)